

# フラス1

～いつもの支援を一工夫～

岐阜県立東濃特別支援学校

地域支援センター通信

No. 26 (H28. 1月号)

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、本校ならびに地域支援センターへのご理解とご協力をありがとうございました。

今年も地域の特別支援教育の発展のために皆様とともに勉強していきたいと思えます。

今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

今号は、昨年末に行われた学校祭、防災研修会の様子等を中心にお伝えします。



## ☆学校祭へのご協力ありがとうございました！

昨年度までの「窯まつり」「学習発表会」という2つの大きな行事が形を変え、11月13日(金)には「校内学校祭」、12月12日(土)には「キラキラハッピー学校祭」として行われました。本校の活動のみならず、作品展示やバザー、ブース発表、パネル発表等、たくさんの交流校や交流学級、関係機関の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

ここで両日の学校祭の様子を紹介します。

### 校内学校祭

小学部、中学部のステージ発表と高等部の作業発表、販売、各学年やクラスでつくったレンガ窯作品の展示がありました。ステージでは、それぞれの児童生徒が日頃の学習や練習の成果を発揮し、精一杯発表する姿が見られました。作業発表では、日頃作業に取り組んでいる姿を見ていただくことができました。生徒たちは緊張した様子でしたが、参観いただいた方から「作業の様子が分かってよかった」、「製品ができる様子が見られてよかった」というご意見をいただき、今後の学習への励みとなりました。



### キラキラハッピー学校祭

セラトピア土岐にて、地域発信型の学校祭を行いました。小学部6年生、中学部3年生、高等部1～3年生のステージ発表、作品展示、中学部、高等部の作業作品・作業製品バザー、PTAバザー等がありました。たくさんの方々にご来場いただき、児童生徒たちは日頃の成果を十分に発表することができました。エンディングでは、「世界に一つだけの花」を全員で合唱し、「第1回キラキラハッピー学校祭」の幕を閉じました。



## 防災教育研修会がありました！



12月18日（金）に岐阜大学工学部の高木朗義先生を講師にお招きし、家庭との連携を踏まえた防災教育についてお話をいただきました。またそれに先立ち、本校の防災教育プログラムをもとに年間を通して取り組んでいる小学部6年生の生活単元学習「もしもの時も大丈夫！」の公開授業がありました。公開講座、公開授業それぞれの内容を紹介します。



### 高木朗義先生の公開講座「今、必要とされている防災教育 ～家庭との連携を踏まえて～」

阪神・淡路大震災での死亡原因の約8割は家屋による窒息、圧死であることから、地震対策の基本として、「自宅の耐震化」や寝室をはじめとした部屋の「家具の固定」、そして「身を守るための行動」の三つが挙げられました。

また、「ハザードマップ」を実際に活用した防災訓練等を行うことで、自宅周辺等の地域の危険性を定期的に把握することができ、日頃からどのような行動をとったらよいか考える機会や場を設けることが大切だと分かりました。そのために効果的な方法として、住民皆で大きな地図を囲み、書き込みながら防災対策を考える「災害図上訓練（DIG）」があり、八百津町や県内の小学校でも行われたそうです。

これらのことを踏まえて、校内での取組に加え、地域土曜親子教室等の機会をはじめ、家庭や地域と連携し、ともに防災教育を行っていくことの大切さを改めて感じました。

### 小学部6年生 生活単元学習「もしもの時も大丈夫！」

本単元では、「命を守る訓練」や毎月行われる「安全確保ミニ訓練」等、全校での取組をはじめとし、災害への関心を高めて友達と一緒に行動したり協力したりすることの大切さに気づくことをねらいとして行ってきました。

子どもたちは、普段学校で取り組んでいる防災訓練により、警報が鳴ったら「ダンゴムシポーズ」をとり、ヘルメットをかぶって身を守り、避難する等にとるべき行動をよく理解しているようでした。授業で扱われた映像は皆、実際の家屋が題材とされており、家庭で災害に遭ったときにも、どのように行動するべきか考えさせられるものでした。また授業では、「レスキュー」という言葉を通して、災害のときに自分たちを助けてくれるレスキュー隊の存在や、「困っている人がいたら互いに助け合う」という姿勢についても学びました。

## ☆アイデア教材紹介コーナー☆



服を選ぶときに、サイズではなく服の柄で選んでしまう・・・

- ・身長計を教室の壁に貼って測定する。
- \*身長計の隣に、顔写真と身長を記入できる表を貼る。



自分の身長を知り、身長に合う服のサイズの表記（「〇センチ」等）が分かったことで、サイズを見て服を選ぶことができるようになっていきます。

またこれをきっかけに、クラスの友達の身長にも興味をもち、友達と身長の比べ合いをする等のかかわりもみられるようになりました。

隔月で「プラス1」を発行させていただいています。ご意見、感想をお寄せください。

